

ぶらり諏訪塾 ⑧ 諏訪湖の出口にかつて存在

諏訪湖の出口には、かつて「弁天島」「浜中島」があったそうです。

天童川は諏訪湖の釜口水門から発し、県南部を流れ下り太平洋へと注いでいます。湖の流域は、湖の面積の約40倍の531平方キロで、流入河川が31本ある一方、出口は1本の天童川のみです。このため古くから頻繁に氾濫を繰り返してきました。

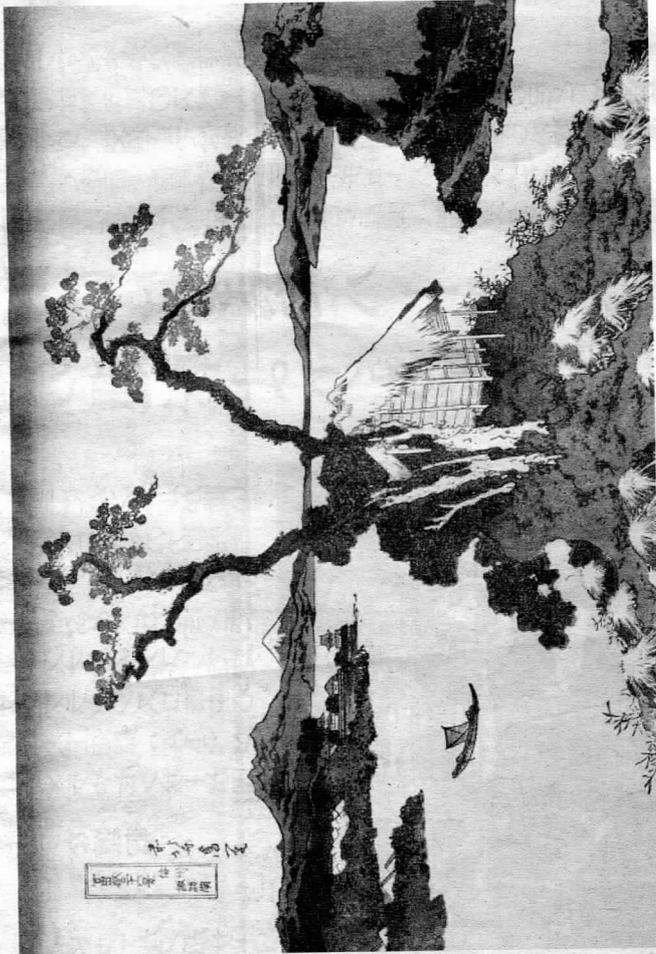
岡谷南高校の応援歌に出てきます。

弁天が丘の花の色 吹るゆる風
に波騒ぎ 諏訪の湖畔に集い来る

一千二百の血は燃えて 流すは
涙か血か汗か 辛苦の腕を示せ今
辛苦の腕を示せ今 辛苦の腕を示せ今

諏訪湖の水は、古墳時代から平安時代にかけて最大となり、その後は減水縮小して現在に至つたと考えられています。江戸時代から、諏訪湖周辺の新田開発地と水害対策として、天保元年に穿する浜中島の撤去、明治元年までに弁天島が撤去され、弁天島・浜中島は無くなりました。

現在は岡谷湖畔公園向かいにある浜中島弁財財天が、その歴史を留



葛飾北斎が描いた富嶽三十六景「信州諏訪湖」。画面中央にVの字に描かれた2本の松と弁財天のほころ



めています。

＝ 随時掲載

詳しい場所などの問い合わせは
諏訪塾事務局（電話070・833・2107）へ。

- ぶらり諏訪塾の冊子は
- ・ 諏訪市観光案内所
(JRT上諏訪駅内)
 - ・ れすとらん割烹いづみ屋
(諏訪市諏訪)
 - ・ 書店「言書堂」
(諏訪市末広)
 - ・ すわ大書情報センター
(諏訪市博物館内)
 - ・ 諏訪書店(通販のみ
57・0990?)
 - ・ 柏屋カフエ&ギャラリー
(諏訪市中洲神宮寺)
で販売中です。

今回の筆者

両角忠幸さん

郡山流尺八大師範として邦楽演奏活動や後進の指導などを行っています。県長寿社会開発センターのシニア地域プロデューサーも務める。

